

【論点整理：議題(2)関係】 高校生向け 教育プログラム

1

前回の議論

■学校現場での実施について

- ・教職員研修の実施、学校管理職向け説明会の実施
- ・各学校でニーズに合った授業の選択
- ・保護者への周知
- ・子どもたちのニーズをきく、アンケート実施の必要性
→(モデル実施時)自由記述にて、生徒の要望などを聞く

前回の議論

■個別の内容について

○全体において

- ・妊娠や出産、月経、射精など科学的な知識に基づいて、プログラムを展開する
- ・性感染症については、相談先などを明示

3

前回の議論

○個別

- ・出産や子育てに関するサポートにはどのようなものがあるか、また「あなたはケアされるべき存在だ」というメッセージを伝えていく
→第3領域①
- ・マタニティハラスメントについて盛り込む→第3領域②
- ・栄養に関する情報の追加→第3領域②
- ・貧困や関係性の希薄化について盛り込む→第3領域③

プログラムの構成・使い方

- 教育内容を「第1領域」「第2領域」「第3領域」に区分し、各領域で3コマ、計9コマ分のプログラムとする。
- 授業で活用する際、9コマ全て実施しなければならないものではなく、各学校のニーズ、状況を踏まえつつ、必要に応じて、取捨選択して実施いただくことが可能。
- プレコンセプションケアに関する教育という観点からは、少なくとも「第3領域」を実施していただくことが望ましい。
- ただし、例えば、デートDVや性感染症に特化した内容にしたいといった場合には、「第2領域」に特化して実施することも可能。

5

プログラムの構成・使い方

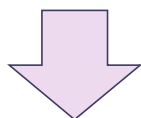
- 教育プログラムは、
 - ・生徒向けの教材【資料6関係】
 - ・生徒向けの副教材(動画教材)【現在作成中】
 - ・教員向けの解説資料【資料7関係】

で構成

高校生プログラム投影資料イメージ(資料6関係)

各学校での実施方法などをお伺いしていくと、

- ・教室で少人数で実施
- ・体育館など大きな会場で大人数で実施



プリントではなく、
スライド資料として投影できるものを生徒用として準備

※必要なスライドに絞って生徒に配布することも可能

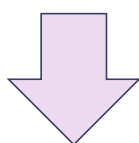
7

高校生プログラム(資料6関係)

デートDVって？

暴力をつかって、怖がらせたり傷つけたりして、
相手を自分の思い通りに動かそうとする
行動のこと。

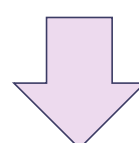
それは「愛」ではなく「暴力」であり、
人権侵害！



知識のページ

考えてみよう①

これまでの人間関係で
自分が「受けた・得た・感じた」
プラス面とマイナス面を
振り返ってみて下さい



生徒たちに考えてもらう
ワークのページ

4

8

高校生プログラム 教員用資料(資料7関係)

■ 指導案

・本時のねらい

・大まかな授業の流れ

※あくまで実践の一例であり、各学校のニーズ、
状況を踏まえ、アレンジしていただくことも可能

・時間数

(50分をどのように組み立てるか)

2-①
健康な人間関係を築くために

本時のねらい

- ・人間関係をあらためて見つめ直し、よりよい人間関係を築くヒントを得る
- ・人間関係において同意・合意を踏みにじる要素とは何かを考える
- ・「デートDV」についての基本的な知識を得る
- ・具体的な相談先について確実な知識を得る

授業の流れ

時間	授業展開
10分	<p>【テーマ1】健康な人間関係とは？</p> <p>本時の「性暴力」「デートDV」といった恋愛関係の中での暴力を取り上げる際に、まず導入として「人間関係」という広い枠組みから生徒に以下の2点を問いかけます。</p> <p>問いかけ①「これまでの人間関係で自分が『受けた・得た・感じた』プラス面とマイナス面を振り返ってみてください」</p> <p>問いかけ②「同じ人間関係の話でもプラス面とマイナス面を生み出します。どのような点がプラス面とマイナス面を分けているのでしょうか？」</p>
10分	<p>【テーマ2】性暴力、デートDVを知る</p> <p>あらゆる性暴力、デートDVなどに「共通する要素とは何か？」を考える →密着性、力の不均衡、加害側が「自分は正しいと信じている」など</p> <p>問いかけ③「もしかしてデートDV？」チェック表</p>
10分	<p>【テーマ3】あなたの恋愛観って</p> <p>それに加えて、「恋愛の勘違い」はないだろうか、 他ではまともな判断ができるのに、恋愛となると分からなくなってしまうということはないだろうか。</p> <p>○「勘違い」アンケートをしてみる</p> <p>問いかけ④「次のA～Eにおいて、「されている側」が失うものは何でしょう？」</p>

高校生プログラム 教員用資料(資料7関係)

■ 指導案

・使用するスライド資料一覧

・授業の詳細な流れ、教員と生徒の
想定される会話の流れ

使用するスライド一覧

健康な人間関係を築くために 【授業の流れ】

教員

本日の授業では健康な人間関係を築くためにどうしたら良いのか考えていただきたいと思います。

【問いかけ①】これまでの人間関係で自分が「受けた・得た・感じた」プラス面とマイナス面を振り返ってみてください

※スライド3や4に書いてあることがコメントとして出る
※イメージがわからない場合は、スライド3・4を使用して、コメントを促す

【問いかけ②】同じ人間関係の話でもプラス面とマイナス面を生み出します。どのような点がプラス面とマイナス面を分けているのでしょうか？

人と一緒にいてプラス面だと感じる時はお互い納得して行動をしていますが、
例えば、他人と一緒に何かをしようと思ったら、相手に「同意」を得たり、相手と「合意」したりすることは当たり前です。「お昼どこで食べる？」とか「どこに遊びに行く？」というでも場合でもそうでしょう。
ところが、この当たり前のことが当たり前に行われていない場合があります。

健康な人間関係を築くために、「同意」と「合意」はとても大切です。
「同意」は一方が出した条件に意思を同じくしてもらうこと、「合意」はお互いの意思を合わせることを言います

生徒

高校生プログラム 教員用資料(資料7関係)

■ 巻末資料

・ 相談先一覧

▼性暴力の被害にあったら 相談先

【京都SARA】
075-222-7711
下記の電話番号は通話料無料で相談いただけます。
▶携帯電話、NTTアナログの固定電話からは#8891（はやくワストップ）
▶NTTひかり電話からは0120-8881-77
#8891は全国共通短縮番号で、発信場所から最寄りのワストップ支援センターにつながります。
一部のIP電話等からはつながりませんので、その際は、075-222-7711へお掛け直してください。
<https://www.pref.kyoto.jp/kateishien/kyotosara.html>

▼DVに関する相談窓口

<https://www.pref.kyoto.jp/josei/cv-soudan.html>

【京都府家庭支援総合センター】
075-531-9910 電話相談（注※面接相談は要予約）
毎日9時00分～20時00分

【京都府南部家庭支援センター（宇治市相談所）】
0774-43-9911 電話・面接相談（注※面接相談は要予約）
月曜日～金曜日9時00分～17時00分（祝日・年末年始を除く）

【京都府北部家庭支援センター（福知山児童相談所）】
0773-22-9911 電話・面接相談（注※面接相談は要予約）
月曜日～金曜日9時00分～17時00分（祝日・年末年始を除く）

【京都市DV相談支援センター】
075-874-4971
受付時間外緊急ホットライン 075-874-7051
電話・面接相談（注※面接相談は要予約）
月曜日～土曜日9時00分～17時15分（祝日・年末年始を除く）

【舞鶴市DV相談支援センター】
0773-65-0056
受付時間外は舞鶴警察署へ 0773-75-0110
電話・面接相談（注※面接相談は要予約）
月曜日～金曜日9時00分～16時00分（祝日・年末年始を除く）

【京都府警察総合相談室（京都府警察本部）】
短縮ダイヤル#9110
075-414-011
月曜日～金曜日（祝日・年末年始の閉庁日を除く）9時00分～17時45分

今後のスケジュール

第3回:10月23日(水)予定 ➡ プログラム案の提案

※10月頃、モデル校による教育プログラム試験実施予定

➡モデル実施の中で、教員や生徒の声を聞き、それらを踏まえて最終案を作成

なお、モデル実施にあたって、模擬授業等の研修会も実施予定
(講師案:関口座長、渡邊委員)

第4回:2025年2月6日(木)予定 ➡ 最終案の提案

有識者の皆様にお伺いしたいこと

- ①資料5「高校生向け教育プログラム(全体像)」
- ②資料6「生徒向け教材(案)(パワーポイント資料)」
- ③資料7「教員向け教育プログラム(案)」

について、ご意見いただきたい。